



よしだつうしん

吉田通信

第118号
【2024年7月】

〒950-1475 新潟県新潟市南区戸頭1347-1 TEL:025-372-1138 FAX:025-372-1155

■■この吉田通信は私とご縁のあった方、ご縁をいただきたい方に差し上げている月一人通信です■■

◆久しぶりに鎌倉へ◆

こんにちは。お世話になります。吉運堂の吉田竹史です。吉田通信第118号をお送りいたします。よろしくお願いいたします。

さて、先日、業界の集まりで10数年振りに鎌倉へ。1日目に定例会。2日目は地元のお仏壇屋さんがアテンドしてくださり、大仏様に鶴岡八幡宮、建長寺さんに妙本寺さんと巡りました。

現地でいろいろと教えてもらったのですが、まず、鎌倉の大仏様は、遠くから見る顔と近くで下から見る顔では違うようです。遠くから見ると、体の大きさの割に顔が小さく見えるのですが、近づいて下から見ると、そのバランスが良くなるように作られているとのこと、実際に近くで下から見て、本当にそうだなあと思いました。

次に、鶴岡八幡宮。若宮大路中央の盛り土された参道。この参道は段葛（だんかずら）と呼ばれているのですが、実は遠近法が用いられています。道幅が鶴岡八幡宮の入り口から500mほど離れた二の鳥居付近で4.5m。鶴岡八幡宮入り口の三の鳥居付近では2.7mと鶴岡八幡宮に近づくほど道幅が狭くなっており、鶴岡八幡宮からは同じ幅の一直線に見えます。参拝者に鶴岡八幡宮を遠くに見せるための仕掛けで、神社を作る時に意図的に設計されたそうです。

建長寺さんでは、平成12年に建長寺創建750年記念事業の一環として描かれた雲龍図を見せていただきましたが、天井一面に広がるその雲龍図は記憶に残るものでした。

妙本寺さんでは、お仏壇屋さんのアテンドだったこともあり、普段は入ることができない山門の中までお坊さんの案内で特別に入らせていただきました。中には観音様とたくさんの仏像があり、大変貴重なものを見させていただきました。



どこも素晴らしかったのですが、個人的に思ったのが鎌倉という町全体のコンセプト、都市計画がしっかりしているなあということです。ホテルや高い建物がほとんどなく、大きい道もありません。古き良きものがそのまま残されており、それによって多くの人を引きつける素晴らしい町になっているのだなあと思いました。

◆発行者コラム◆

今回もまた最後までお読みいただきまして、どうもありがとうございます！さて、先日、妻と娘が1泊で外に出かけていたので、自分でごはんを作ろうと思いました。私の定番は鍋ですが、食材を買いに行ったところ、スーパーの鮮魚コーナーに大きなアジがあり、それを買って帰りました。出刃包丁は傷んでいたので普通の包丁でなんとかさばき、刺身にしました。ネギに醤油と一味唐辛子をからめ、それと一緒に食べるアジの刺身は、本当に最高でした。吉田竹史

■吉田通信を今後ご希望されない方は、大変お手数ですが025-372-1138までご連絡をお願いいたします。■

【発行者プロフィール】

名前：吉田 竹史（よしだ たけし）
生年月日：昭和40年8月21日（O型）
出身地：新潟県白根市（現・新潟市南区）
経歴：都内の学校を卒業後、証券会社（水戸 & ニューヨーク）の4年間の勤務を経て吉運堂へ。

趣味：上手くないゴルフ、強くない将棋
（NHKの将棋対局を見ることは好きです）
家族構成：妻、娘、息子



吉田 竹史